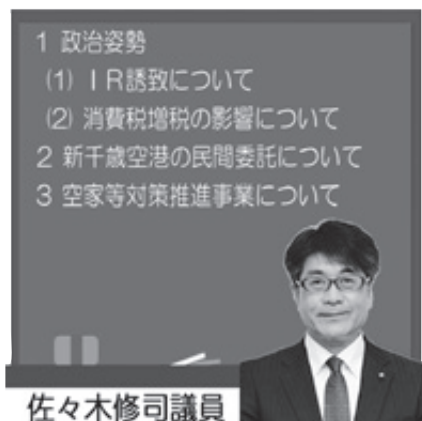


民主クラブ

松尾 省勝・岩田 薫・佐々木修司
橋本 智子・小山 征三

佐々木修司 議員

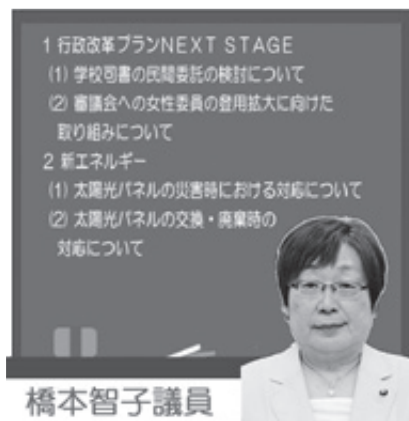
★IR誘致については、平成31年3月議会での代表質問に対する岩倉市長の答弁で、住民意向調査について熟慮するとの考えが示されていることを踏まえ、どの程度考え方が整理されているのか検討状況を質問しました。市側から「現時点においては考え方がまとまっている状況ではない」と答弁がありました。一定のスケジュールを考えると早い段階での住民意向調査が必要であり、市の考え方の整理を早期におこなうよう求めました。



橋本智子 議員

★行革プランでは、**学校司書の配置**を中学校へ拡大するとあわせて民間委託の可能性について検討し

ています。市側からは「事業規模が拡大することで、人員の確保などさまざまな課題を勘案した上で、その手法の一つとして考えている」と答弁でした。**民間委託について慎重に検討するよう要望しました。**
★太陽光パネルの災害時の対応と廃棄時の適正な処分のあり方について質問し、国の施策や制度についての答弁がありました。

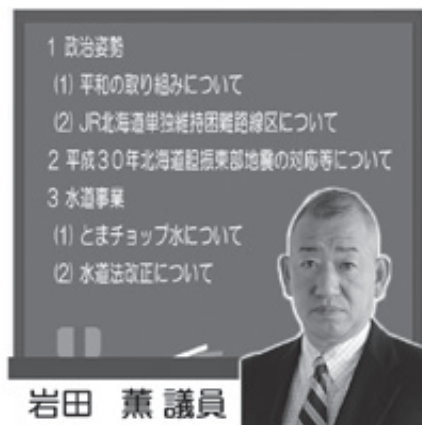


岩田 薫 議員

★平和の取り組みについて

令和元年8月におこなわれた広島、長崎の平和記念式典において、両市長の平和宣言では、国連が制定した「**核兵器禁止条約**」の署名・批准を政府に対し求めたことから市としての対応を質問しました。

岩倉市長は、今回の条約は、核兵器のない世界を実現するためのアプローチが、政府の考え方と異にしているとの見解であり政府が参加しなかったことに理解するとし従来の姿勢を崩しませんでした。



松尾省勝 議員

★多様性を認めあう社会の実現

LGBT（性的少数者）への行政・教育の配慮を進めるために①庁内の意識を高めること②公的申請書などへの性別欄記入方法の改善③教育現場での研修④保護者への周知を市側に求めました。
★災害時の在宅医療用の電源確保
停電時における在宅医療用電源器確保へ9割助成が広がりつつある中、市内のニーズ調査や助成の

在り方について提案しました。



小山征三 議員

《総合開発特別委員会質疑》

IR誘致をめくり、政府が都道府県に対する意向調査を実施中です。市長は質疑の中で、道が苦小牧誘致を決めた場合の市としての判断は「最終的には市議会の議決による」と述べました。一方で、「IR整備法の認定プロセスにおける「十分な合意形成」について見解を求めると「今後も市民理解を深める」としながら「誘致の手を下げることはない」と答弁。誘致ありきなのでしょうか。

